

平成 23(2011)年度「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書

提出日：2012年3月15日

氏名：貝塚 乃梨子

所属団体：カンボジア市民フォーラム

受入先機関名(所在国)：NGO Education Partnership (カンボジア王国)

研修期間(全体)：2011年11月11日 ~ 2012年3月10日(約4ヵ月間)

研修テーマ：カンボジアの教育支援ネットワーク NGO における効果的な連携促進とアドボカシー戦略

全体研修目標：

NEP が行う連携促進とアドボカシーのノウハウ体得

NEP およびカンボジアの教育支援 NGO との関係作りによる所属団体とのネットワーク構築

カンボジアで活動する日本の教育支援 NGO の活動把握と支援の改善に向けた課題の提示

具体的な研修内容：

本研修は、2001年に発足したカンボジアの教育支援ネットワークNGO「NGO Education Partnership (NEP)」での研修を通じ、カンボジア人が行うアドボカシー・ネットワーク活動を学ぶとともに、カンボジアで活動する日本の教育支援NGOの現状を把握し、ネットワーク強化に向けた課題を提示することを目的とする。

NEPIは、2000年に開催された教育・青年・スポーツ省(以下、教育省と表記)と教育関連のNGOや国際機関との会合により発足した教育関連ネットワークNGOである。NEPIは(1)情報共有、(2)提言活動、(3)調査研究活動、(4)能力強化活動を中心に活動を展開している。なかでも、(2)(3)においては、政府を含む協力団体間での情報共有や政策に対するNGOの意見の反映、効果的なアドボカシーに向けた調査研究を戦略目標として掲げている。

スタディ員は、研修目標 を達成するために、NEP加盟団体との定期会議(Membership meeting/Annual meeting etc.)および開発パートナーとの会合への参加、アドボカシーセクションにおける教育支援NGOの情報収集作業、および国際的な教育キャンペーンに関する広報媒体の作成作業に従事した。また、目標 に関しては、在カンボジアNGOネットワーク(JNNC)定例会と大使館/ EoJ・NGO・JICA・商工会/JBACの協議会(ENJJ)における教育分科会への参加を通じ、参加者との情報共有や日本の教育支援NGOのネットワーク拡大に関する協議を行った。

主な研修スケジュールと内容は下記の通りである。

日付	内容
11月19日	在カンボジア日本人ネットワーク(JNNC)定例会への参加
11月21~23日	NGO Education Partnership(以下NEP)主催のワークショップへの参加 ・21~22日:教育の質改善に向けた「Community Engagement」に関する情報共有とディスカッション ・23日:国家教育指針「Education Strategic Plan」のMidterm review とディスカッション
11月24日	国家戦略「National Strategic Development Plan 2009-2013」のMidterm Review と国家予算に関する会議への参加

11月25日	教育の世界的キャンペーン「Global Campaign for Education2012」のテーマである「Early Childhood Education」に関する会議への参加
11月29日	NEP 主催の「Teacher Policy Development」に関する NGO の意見収集会議への参加
11月30日	NEP 主催の Bi-monthly Member Meeting への参加
12月05日	NEP が支援するメンバー団体の障害者イベントへの参加(タケオ州)
12月07日	NEP 主催: Local Life Skill に関するワークショップへの参加
12月13日	・Global Campaign for Education2012 に向けたワーキンググループ会議への参加 ・教育省のカリキュラム開発局での聞き取り
12月14~16日	2010年の活動報告と年次計画合宿への参加(シハヌークビル)
12月17日	在カンボジア日本人ネットワーク(JNNC)定例会への参加
12月19~23日	Global Campaign for Education2012 のパンフレット作成
12月26日	Global Campaign for Education2012 のポスターデザイン会議への参加
12月27日	ドナーとの意見交換会への参加
12月28日	・ドナーと教育省初等教育局との会合への参加 ・NEP 主催: Gender Equality に関するワークショップへの参加
12月29日	・NEP 主催: Local Life Skill に関するワークショップへの参加(ドナーによるファシリテート) ・ドナーと計画省およびキャリアオリエンテーション局との会合への参加
12月30日	・来年度の活動計画調整会議への参加 ・NEP の理事とドナーを交えた意見交換会への参加(記録)
1月13日	ASEAN の市民社会理解 / ASEAN People's Forum に関する会議への参加
1月16日	Global Campaign for Education2012 に向けたワーキンググループ会議への参加
1月17日	教育計画(ESP2009-2013)の中間評価に関する会議への参加
1月18~20日	Global Campaign for Education(GCE)のジェンダーに関するフィールド調査実施(コンボン・チャム州)
1月21日	在カンボジア日本人ネットワーク(JNNC)定例会への参加
1月26日	大使館・NGO・JICA・商工会/JBAC の協議会(ENJJ)全体会への参加
以下、草の根人間の安全保障無償資金協力(GGP)フォローアップ調査の同行日程	
1月30日	クロチェ州立病院
1月31日	コンボン・トム州 CMAC/コンボン・トム州立保健局・病院
2月01日	バットンバン州地方教員養成校
2月02日	コンボン・チュナン州橋梁建設/プノンペン都ダンコー中学校
2月03日	タケオ州地方教員養成校/タケオ州ポタワ灌漑施設
2月07日	Global Campaign for Education2012 に向けたワーキンググループ(就学前教育に関するビデオ作成)会議への参加
2月10日	Inclusive Education に関するワークショップへの参加(コンボン・チュナン州)
2月16日	NEP 主催の年次会議(Annual General meeting) への参加
2月21日	Global Campaign for Education2012 に向けたワーキンググループ会議への参加
2月22~23日	プログラムのモニタリング・評価に関する研修への参加
2月25日	在カンボジア日本人ネットワーク(JNNC)定例会への参加
2月27日	ASEAN Civil Society Conference/ Asia Public Forum に関する会合への参加
3月01日	Global Campaign for Education2012 に向けたワーキンググループ(就学前教育に関するビデオ作成)会議への参加
	ENJJ (大使館・NGO・JICA・商工会/JBAC の協議会)教育分科会での報告
3月07日	GGP フォローアップ調査に関する大使館訪問

研修の成果：**【NEP が行うネットワーク構築の方法について】**

当該目標 については、研修期間内で草の根レベルからナショナルレベルにおける会議への参加を通じ、様々なレベルのネットワーク活動を学ぶことができた。NEP は現在 109 のメンバー団体 (国際 NGO: 42 団体、カンボジア NGO: 66 団体) を有しており、カンボジアの教育支援 NGO の代表的役割を担うとともに、メンバー獲得に向けた様々な活動を行っている。具体的には、(1) 情報共有・ネットワーキング、(2) 提言活動、(3) 調査研究活動、(4) 能力強化活動の 4 つである。

(1) については、メンバー団体・開発パートナー (政府・国際機関) との定期/年次会議を通じ、活動成果や課題について共有する場を定期的に設定している。とりわけ、草の根レベルの声を集めるため、ワークショップの際は交通費と食費を賄い、地方の方が積極的に参加できるような工夫を行っている。これにより、首都のプノンペンで活動する団体のみならず、遠隔地の団体が参加する機会を提供し、草の根レベルの声や問題を汲み上げる努力をしている。メンバー団体の獲得については、すでにメンバーである団体からの口コミが NEP へ参加する主な理由であった。

また、EFA 達成のための世界的な教育キャンペーンである「Global Campaign for Education (GCE)」や「Global Action Week (GAW)」といったナショナルレベルのキャンペーンの企画・運営調整も行っており、月に約 2 回の頻度で NGO (他分野) や国際機関のスタッフと意見収集や議論する場を設けている。このような会議は、参加者の各専門性を生かして幅広い視点を吸収することができるとともに、国際機関と NGO が密接に協力できる貴重な機会となっている。スタディ員は 2012 年 5 月に開催される GCE の事前会議に参加し、キャンペーンに向けたパンフレット、T シャツ、啓発ビデオ、イベントの内容に関する議論に参加することができた。とりわけ、パンフレット、T シャツに関しては、作成者として発案や意見収集の段階から係わることができ、意見集約までの流れを学ぶことができた。(添付資料 「GCE2012 brochure」「GCE2012 T-shirts」)。

(2) (3) に関しては、残念ながら期間の都合上実際の活動には参加することができなかった。しかし、NEP スタッフへの聞き取りによれば、NEP は NGO セクターの代表として、教育省、国際機関、NGO などが集まるナショナルレベルの会議 (Joint Technical Working Group: JTWG) に参加しており、ワークショップや NEP の定期会議などを通じて得た草の根レベルの教育問題・課題を政府に発信する役割を担っている。また、毎年発行している NGO の分析レポート「NGO Report」では、NEP のメンバー団体およびメンバー団体と関係のある団体へのインタビューを通じて各団体の活動内容を把握し、カンボジア国内での支援活動や傾向分析、団体のダイレクトリーを作成している。(4) に関しても、日にちの都合上、実際の活動には参加できなかったため、具体的な内容は見ることはできなかった。

【カンボジアで活動する日本の教育支援 NGO の活動把握と支援の改善に向けた課題の提示】

当該目標 については、在カンボジア日本人ネットワーク (JNNC) の定例会 (11 月～2 月) への参加を通じ、カンボジアで活動する日本の NGO の方々と活動内容に関する情報共有をすることができた。ただ、当初の研修計画で明記していた「ENJJ (大使館・NGO・JICA・商工会/JBAC の協議会) 教育分科会への参加・聞き取りを通じた日本の教育支援 NGO の現状把握」については、ENJJ 教育分科会が 11 月から 2 月にかけて開催されなかったため、日本の教育支援 NGO の現状と課題に関する聞き取りは、思うように進めることができなかった (通常、2～3 ヶ月に 1 回の頻度で開催)。結果的には、研修最終月に ENJJ 教育分科会で報告する機会をいただき、「カンボジアにおける教育ネットワークに関する報告」として、日本の NGO の現状とネットワークの必要性や可能性について議論することができ、曲がりなりにも目標を達成することができた。

本会合には、NGO、大使館、JICA、国際機関、学生ボランティア等の計 25 名が参加し、様々な視点からカンボジアのネットワークおよび日本の NGO のネットワーク拡大に関する議論を行った。当日のプログラムは下記の通りである。

<教育分科会プログラム>

日時:2012年3月1日(木)16:00~18:00 (場所:JICAカンボジア事務所 6F 会議室)

内容:カンボジアの教育支援ネットワーク NGO「NGO Education Partnership」について

1. 挨拶・自己紹介 10分
2. 報告 「カンボジアにおける教育支援ネットワークに関する報告」60分
 < 貝塚乃梨子 カンボジア市民フォーラム事務局調整員 >
3. 報告 「バタンバン州における「NGO Education Partnership」の事例について報告」30分
 < 加瀬貴 青年海外協力隊 バタンバン州教育計画課 プログラムオフィサー >
4. 今後の協議内容について 15分
5. その他お知らせ 5分

本会合では、まずスタディ員による報告において、NEPの活動(ナショナル・レベル)とカンボジアで活動する日本の教育支援 NGOの現状を共有した(添付資料「当日の配布資料」)。具体的には、NEPのメンバー団体の背景や活動内容の紹介と分析である。さらに、日本の教育支援 NGOの現状においては、現在カンボジアで教育支援を行っている NGOを一覧表にまとめ、設立年や現地事務所の有無、活動分野、支援対象といった分析を行った。分析の結果、現在約60団体がカンボジアでの教育支援を行っているものの、そのほとんどが学校建設や教材支援といったハード支援に偏っていること、および対象が初等教育であること、多くの NGOが現地事務所を持たずに活動を行っていることが明らかとなった。参加者からは、このような団体はネットワークに入っていない所が多く、情報共有の機会がないことが指摘された。

そして、スタディ員の報告後、JICAの青年海外協力隊員である加瀬氏から、バタンバン州でのネットワーク活動(地方レベル)の事例をご報告いただいた。本事例はNEPの影響を受けて発足したネットワークの動きであり、NEPによる研修が活動の発端であった。質疑応答では、カンボジアのネットワークの動きに関する政府の対応や今後の展望、および日本の教育支援 NGOのネットワーク拡大の可能性について議論を行った。

本会合での議論から、参加者全員がネットワークの必要性を把握していることは明らかであった。しかし、ネットワークの強化・拡大に関しては、切迫した問題ではないことに加え、調整の難しさもあるため、今後さらなる議論が必要である。近々に取り組むべき課題としては、現地に事務所を持たない団体が情報を入手できるようなネットワークの構築が日本の教育支援の向上に繋がるひとつのカギである。

【まとめ】

以上、本研修では、NEPにおける定期会合への参加と聞き取りにより、NEPが行うネットワーク拡大のノウハウを学ぶことができた。しかし、アドボカシー面においては実際の提言活動に参加できなかったため、聞き取りでの情報収集に留まった。NEPはカンボジアで最も大きい教育関連ネットワーク団体として会議やキャンペーンの調整を行い、メンバー団体だけでなくカンボジア/国際 NGO、国際機関、政府を繋ぐ役割を担っている。また、能力強化活動によって各団体の自助努力を高めるとともに、地方におけるネットワークの引き金として、さらなる連携の動きを生み出している。

一方、日本の教育支援 NGOの現状把握と課題については、JNNCへの参加とENJJ教育分科会での報告を通じ、ネットワークの拡大は必ずしも必要ではないこと、多くの団体が現地に事務所を持たずに活動を行っていることが明らかになった。しかし、各々ネットワークの必要性は感じており、今後の方針についてはさらなる議論が必要である。目下の課題としては、現在カンボジア国内に事務所を持たない団体やネットワークに参加していない団体をいかに取り込んでいくかという点であろう。

【草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)フォローアップ調査への同行に関する報告】

本調査は、在カンボジア日本国大使館が事業完了から2年後に行うGGPフォローアップ調査をNGOの視点から行うという趣旨のもと、外務省が所属団体へ委託したものである。スタディ員は本調査の委託期間である2012年1月27日から2月3日の6日間、同行者として調査の全日程に参加した。

GGPの教育案件は、教員養成校および公立中学校への校舎・教材供与に関するものであった。教員養成校に供与された理科実験棟の視察では、プロジェクト目標の達成やインパクト、持続可能性等について教員・学生への聞き取りを行った。理数科教育の推進はJICAの事業の一環であり、青年海外協力隊の方の協力を得て進めている。GGPは建物や機材といったハード支援が中心のため、JICAによるソフト支援との組み合わせは援助の相乗効果という点で興味深かった。しかし、教員養成校で理数教育(実験を含む)を学んだ学生が、学校の設備不足から卒業後にその技術を生かすことができないケースが多く、改めてカンボジアの理数科教育の難しさを感じた。また、本フォローアップ調査への参加を通じ、各案件に対する評価の視点を活動経験豊富な方々から学べたことは、大変貴重な機会であった。

最後に、本研修期間中に上記の「草の根・人間の安全保障無償資金協力フォローアップ調査」への参加(2月27日～3月3日)、および留学奨学金の2次試験参加のための一時帰国(2月11日～14日)を許可していただいた外務省、JANICに心から御礼申し上げます。

本研修成果の自団体の組織強化や活動の発展への活用方針、方法:

本研修成果の自団体の組織強化や活用の発展に向けた方針については、大きく2点を考えている。

1点目は、自団体の調査研究活動の一環として、カンボジアで活動する日本の教育支援NGOの分析を深め、自団体およびENJJ教育分科会に提示することである。これにより、自団体に本研修の成果を共有するとともに、これまで不明瞭であった日本の教育支援に関する基礎情報が明らかとなる。さらに、ENJJ教育分科会を通じて得た課題を解決するため、現在カンボジアに事務所を持たない団体への連絡を行い、既存のネットワークに関する情報を発信していきたい。

2点目は、自団体が定期的開催しているセミナーを通じ、日本における教育支援NGOネットワーク(JNNE教育協力NGOネットワーク)と自団体との連携を促進することである。具体的には、日本での教育支援ネットワークであるJNNEとカンボジア国内、およびその他の地域でのネットワーク構築の現状と必要性について議論し、カンボジアにおける日本の教育支援NGOのあり方について考える機会を設定する。これにより、JNNEに加盟する団体のなかでも、カンボジアを対象地とする団体と自団体とを繋ぐ。

本プログラムや事務局側に対する提案、要望等:

要望としては、他のスタディ員との情報共有をより効果的に行えるとよいと感じた。今回、研修前の段階で平成23年度NGO長期スタディ・プログラムのメーリングリストを作成されたと思うが、あまり活用する様子が見えなかった。よって、今後は他のスタディ員の研修状況や課題などを共有できるとよい。

その他:

- ・活動写真 3点
- ・添付資料 : GCE2012 Brochure
- ・添付資料 : GCE2012 T-shirt
- ・添付資料 : ENJJ教育分科会での配布資料

以上